公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ブロッサムジュニア上越春日新田教室		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 24日		R7年 2月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	R7年 2月 8日		R7年 2月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	建物の構造	・階段や段差、ボルダリングが身体機能向上の支援のひとつとなっている。	・階段や段差、ボルダリングの他にも体操やサーキット運動等で身体機能の向上を支援していく。
2	活動の可視化	・ご利用者様には絵や写真カードを使った療育を行っている。 ・保護者様には連絡帳アプリや掲示物を通して、こどもたちの活動の様子を発信している。	・写真だけでなく、動画を活用していく。
3	個別療育の充実	・職員とマンツーマンでご利用者様に合った療育プログラムを提供している。	・職員間で療育の検討会を定期的に行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流がない	・職員の人手不足、スキル不足。	・年間行事として毎年計画していく。 ・行事やイベントに合わせて保護者様にもご参加いただく。 ・フリー参観期間を設ける。
2	建物の構造	・降雨や降雪時は、外階段が滑りやすく危険。 ・ご利用者様の特性によっては、外階段の昇降が難しい。 ・人数が多いと狭く感じる。	・必ず職員がそばについて階段の昇降を行う。 ・時間やグループを分けたり、1階や公共施設を利用しながら活動していく。
3	専門職不足	・職員の人手不足、スキル不足。 ・言語療法や作業療法、理学療法が必要なお利用者様が多い。	・職員が研修を受け、スキルを高めていく。